

## 5. 里山エリア

### (1) 土地利用の方針

#### 1) 住宅地

##### 【地域拠点住宅地】

河南・桃生・北上総合支所を中心として住宅地がまとまって形成されていることから、道路や排水施設等を整備し、良好な居住環境の維持保全を図ります。

また、農地に点在する集落についても、いつまでも住み続けることができる生活環境の維持向上を図ります。

#### 2) 農地・森林

##### 【農地】

北上川流域に広がる肥よくな大地による農地については、食料供給機能のほか、緑地機能、保水機能、交流機能など、農地が持つ多面的機能が発揮できるよう、計画的な保全を図ります。

##### 【森林】

広大な森林は、豊かな自然環境を有しており、特に、エリア北東部に広がる森林は、環境保全機能、土砂災害防止機能、水源かん養機能、レクリエーション機能等の多面的機能を有するほか、畜産業や水産業振興の観点からも適切な維持管理が望まれていることから、引き続き森林の維持保全を図ります。

### (2) 道路・交通の方針

#### 1) 道路

##### 【主要幹線道路】

三陸自動車道については、桃生豊里IC及び桃生津山ICを活用した、都市間の広域的なネットワークを形成するとともに、エリア間のネットワークの柱として位置付けます。

##### 【幹線道路】

都市エリアから離れていることもあり、地域間を結ぶ幹線道路が必要不可欠なエリアであることから、エリア間のネットワーク強化と三陸自動車道へのアクセス道路の整備促進を図ります。

##### 【生活道路】

震災復興により整備された住宅地では、計画的な基盤整備が行われているものの、点在する集落内の身近な生活道路については、不規則で狭い道路が多く、また、市民意向としても身近な生活道路の整備が望まれている割合も高いことから、安全で安心な道路整備や私道の整備費補助等を推進するとともに、適切な維持管理を図ります。

2) 公共交通

【鉄道】

石巻線、気仙沼線（一部BRT）は、通勤、通学等に利用されていることから、利便性の向上と交通結節機能の強化を図るとともに、適正な駅周辺環境の維持管理を推進します。

【バス】

地域の実情に合わせた形態で住民バスや乗合タクシーが運行されています。高齢化率も高いことから、交通弱者に配慮した交通体系の確立を図ります。

(3) 公園・緑地の方針

県立自然公園旭山や桃生植立山公園などは、地域のシンボリックな公園となっており、また、市民の憩いの場や観光資源ともなっていることから、引き続き機能向上を推進するとともに、適正な維持管理を図ります。

(4) 供給処理施設の方針

集落の生活環境の改善や自然環境の保全のほか、産業振興上、生活排水処理施設の整備が必要であることから、農業集落排水事業などの集合処理や合併処理浄化槽による個別処理などにより、整備を推進します。

(5) 都市防災の方針

【水害】

台風や大雨などによる洪水などの被害から住民の安全・安心な暮らしを守るため、河川や水路などの改修を促進します。

【地震】

旧北上川の沿岸部においては、地震発生による住宅の倒壊とともに液状化も懸念されていることから、避難場所や避難路の確保を図ります。

【土砂災害】

土砂災害警戒区域等については、ハード整備とハザードマップの作成等のソフト対策を促進します。

(6) 環境保全の方針

【自然】

市民意向では「山や河川等の自然景観の保全」が望まれていることも踏まえ、県立自然公園旭山や翁倉山県自然環境保全地域、三陸復興国立公園の指定区域のほか、北上川河畔に広がるヨシ原の風景など、美しく豊かで良好な自然環境を保全します。

【水質汚濁】

生活排水処理施設の整備の遅れから、生活排水等の混入による農業用水や河川等の水質が悪化しており、周辺の自然環境への負荷も大きいことから、公共下水道事業等による汚水処理施設の整備を推進するなど、公共用水域の水質保全を図ります。

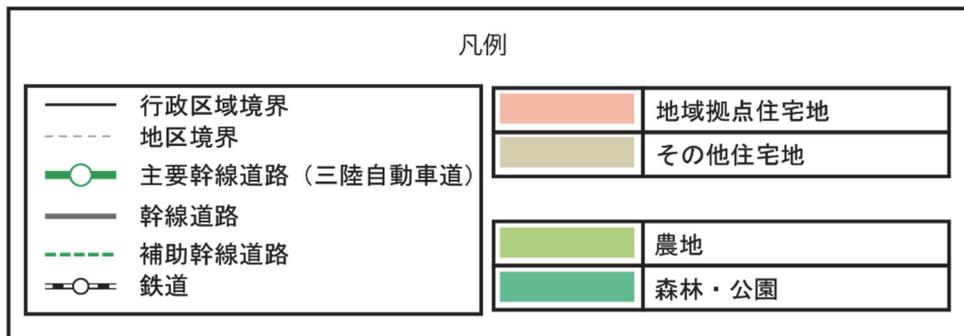
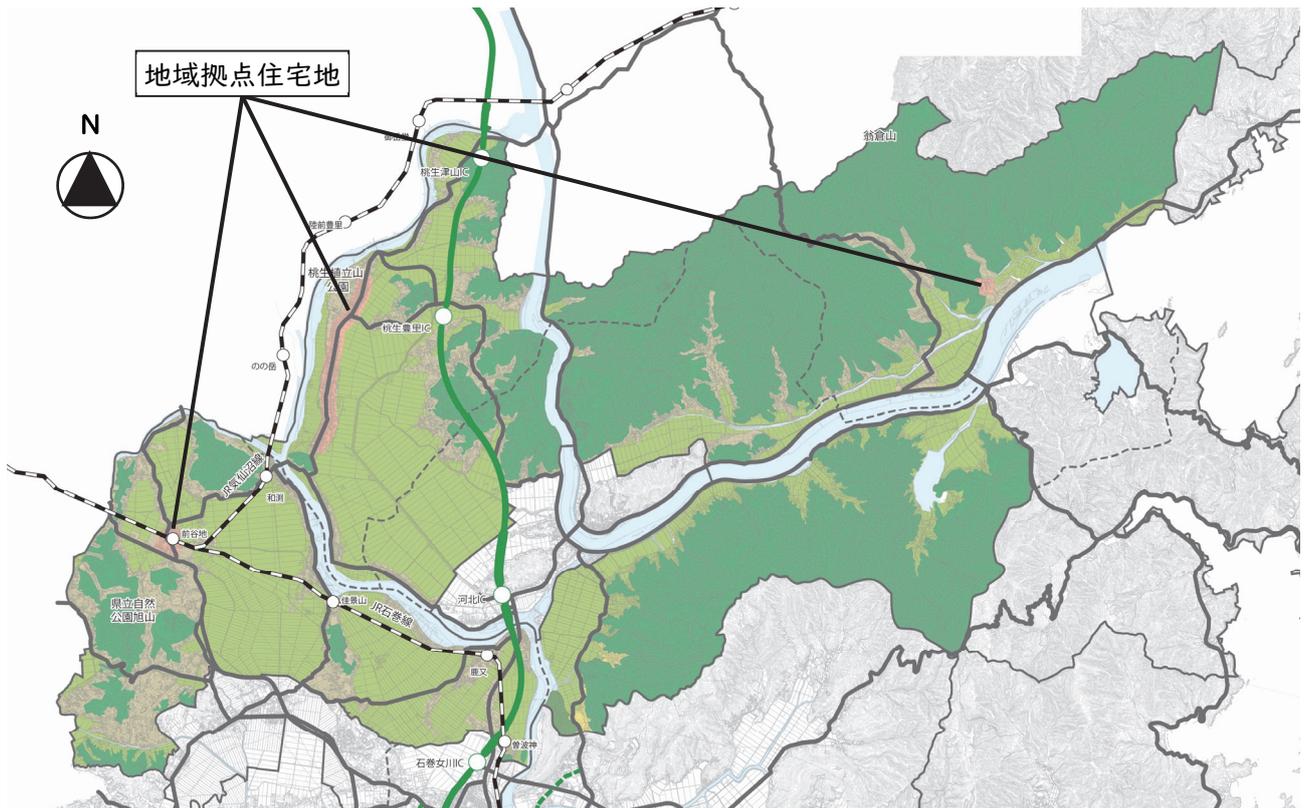


図7-6 里山エリア詳細方針